

とよなかSDGs未来都市～明日がもっと楽しみなまち～

大阪府豊中市（2020年度選定）

（様式2-1）

<h3>1. 地域の特徴と課題及び目標</h3>	<p>大阪府の中央部の北側、神崎川を隔て大阪市の北に位置し、空の玄関口である大阪国際空港や日本最初の大規模ニュータウンである「千里ニュータウン」があり、人口も微増傾向にある。一方で老年人口の割合が増加しており、少子高齢化が進展している。また施設の老朽化や地域コミュニティを支える担い手不足も課題となっている。その解決のため地域資源を活用した子育てと職住近接の推進を通して、全員参加型のSDGsコミュニティの創出をめざす。</p>	<h3>2. 関連するゴール</h3> 
<h3>3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)</h3>	<p>本市が抱えるさまざまな課題を乗り越え、本市の強みや特性を発展させ、まち全体で子どもたちを育み、その子どもたちが愛着と誇りをもってまちを創っていくことが、「みらいのとよなか」の礎になる。そのために、多様な主体の協働のもと、創意工夫して創造性あふれるまちづくりを進めていき、「誰もが“明日がもっと楽しみ”と思える、誰一人取り残さない持続可能なまち」を2030年のあるべき姿とする。これを実現するために、誰もが住み慣れた自宅や地域で自分らしく暮らせることのできる地域共生社会の実現をめざす「地域福祉計画」を推進する。</p>	
<h3>4. 自治体SDGs推進等に向けた取組</h3> <ul style="list-style-type: none"> ◆【経済】産業振興の充実 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者の事業成長支援として、アクセラレーションプログラムを実施。 ➢ 市内消費喚起としてデジタル地域ポイントを活用した決済還元CPを実施。 ◆【社会】子ども・若者が夢や希望をもてるまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ➢ 府内初の「こども家庭センター」である「はぐみセンター」において、妊娠や出産・子育ての支援を切れめなく提供できる体制を構築。 ➢ 誰も取り残さない学びへのアクセスを可能にするため、修学旅行費、行動費、ドリル・テスト等の副教材費等を無償化。 ◆【環境】脱炭素・循環型社会の実現 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業者向けの脱炭素経営セミナーの実施に加え、業者と連携したペットボトルの水平リサイクルおよび家庭用廃食油をSAFにリサイクルする事業を実施。 ◆【情報発信】多様なステークホルダーとの連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「豊中SDGs・公民学連携プラットフォーム」を運営。 ➢ こども家庭庁と協力し、「『こどもまんなかアクション』リレーシンポジウムinとよなか」を開催。 	<h3>6. 取組成果</h3> <ul style="list-style-type: none"> ➢ アクセラレーションプログラム（全6回・12名参加）の実施により、事業者間ネットワークの構築や経営に関する知識習得など、事業成長の環境づくりにつながった。 ➢ 総額約11億4千5百万円分のデジタル地域ポイントが利用され市内消費喚起につながった。 ➢ はぐみセンターにおいて、すべての妊産婦、子どもとその家庭を対象とし、一人ひとりのニーズに応じた支援を提供した。産後ケア事業では、支援スタッフ加算制度の創設等による受託施設数の増加、受入枠の拡大に伴い利用日数は約1.9倍に増加した。こうした取組みを通して、安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりを推進した。 ➢ 義務教育9年間で約24万円の副教材費等の無償化を実施した。在籍する児童等の保護者の経済的負担を軽減することで、子どもたちが安心して学校行事に参加し勉強できる環境づくりにつながった。 ➢ 市民一人当たりの温室効果ガス排出量は-25.5%と順調に進捗している。事業者向けのアンケートからは脱炭素経営セミナーをきっかけに脱炭素に取り組む必要性を認識したという回答を得られ、機運醸成にもつながった。またペットボトルの水平リサイクルおよび家庭用廃食油をSAFにリサイクルする事業は、事業者との連携のもと脱炭素・循環型社会の実現につながった。 ➢ プラットフォームの会員数140団体達成。 ➢ 『『こどもまんなかアクション』リレーシンポジウムinとよなか』を開催し、約130人が参加した。子育ての社会化の実現に向け、地域全体の意識醸成につながった。 	
<h3>5. 取組推進の工夫</h3> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 市総合計画を始めとした各種計画の新規策定や見直しについては、SDGsの視点を踏まえた策定・改定を行っている。 ➢ 総合評価一般競争入札の評価項目に「豊中SDGsパートナーの登録」を追加し、事業者等のSDGsに対する意識醸成を行っている。 	<h3>7. 今後の展開策</h3> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事業成長支援策を継続するほか、スタートアップ企業への補助を実施。 ➢ 仕事と育児の両立を支援するため、行政のみならず民間も含めた子育て支援サービスをプラットフォーム上で紹介し、デジタル地域ポイントにより利用を促進する施策を推進していく。 ➢ 事業者向け施策として脱炭素経営セミナーに加え、脱炭素経営スクールを実施。 ➢ 豊中SDGsパートナー登録団体等のステークホルダーと連携した普及啓発の実施。 	
<h3>8. 他地域への展開状況（普及効果）</h3>	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 大阪府主催のSDGs未来都市交流会で、豊中市版SDGs学習ゲームの紹介・体験及び市のSDGsの取組みを紹介。 	